

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年3月2日（水）

2 確認箇所

1号機原子炉建屋西側及び1・2号機開閉所

3 確認項目

1・2号機非常用ガス処理系配管一部撤去の対応状況

4 確認結果の概要

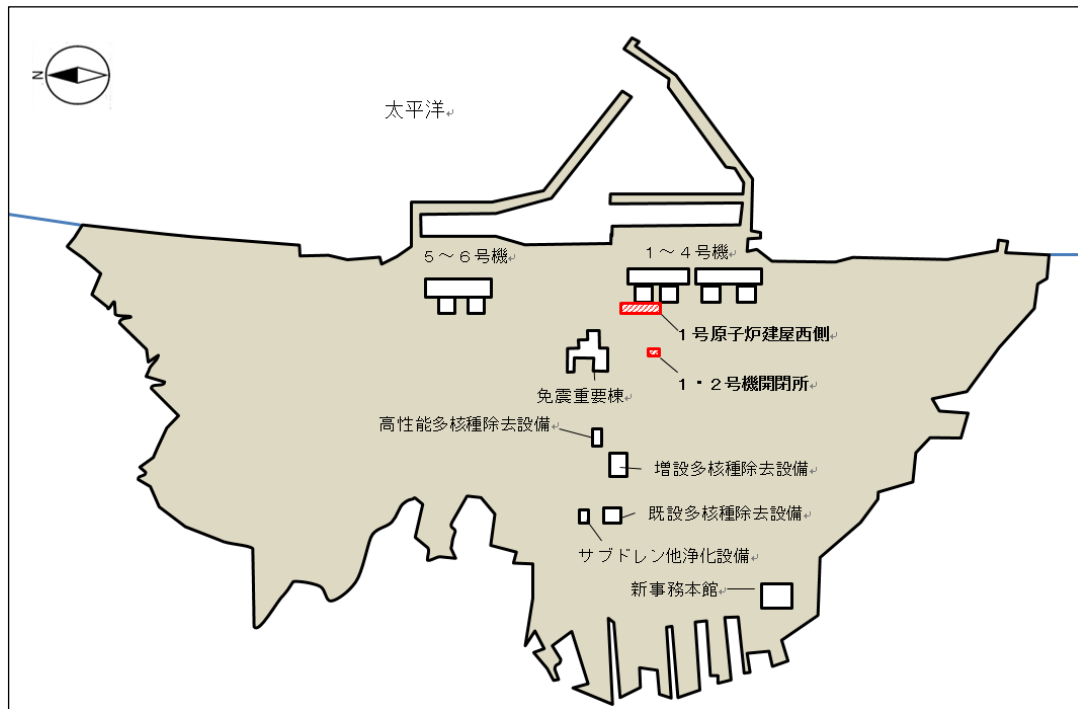
1・2号機非常用ガス処理系配管（以下「SGTS配管」という。）については、今後予定されている1・2号機建屋の雨水対策工事及び1号機の使用済み燃料取り出し用大型カバーの設置工事に支障を及ぼすことから、支障を及ぼす範囲の配管撤去が計画されている。

3月1日、SGTS配管の切断作業に着手したところ、配管切断装置近くに設置された仮設ダストモニタにおいて放射能ダスト濃度上昇警報が発生したことなど※から作業が中断されていたが、本日、作業が再開されることから状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・1号機原子炉建屋西側の現場では、配管切断装置、仮設ダストモニタ及び局所排風機など装置一式が吊り天秤に設置されており、現場到着時は機器調整等の作業が行われていた。（写真2）
- ・その後、吊り天秤は大型クレーンにより吊り上げられ、SGTS配管の切断箇所に移動された。（写真3）
- ・1・2号機開閉所の東側には遠隔操作室が設けられ、パソコン端末の画面で作業状況を監視していた。（写真4）

※ 3月1日12時15分に仮設ダストモニタにおいて、放射能ダスト濃度上昇警報が発生したことから一時作業を中断した。その後、指示値が下がり、14時01分に作業再開のため配管切断装置の動作確認を行ったところ、不具合が確認されたことから同日の作業を中止した。

東京電力では装置の修復を行い、ダストモニタを連続監視しながらゆっくりと切断作業を行うなどとした上で、準備が整い次第作業を再開するとしていた。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
SGT S配管の設置状況
(破線部がSGT S配管)



(写真2-1)
1号機原子炉建屋西側の現場の状況



(写真 2 - 2)
吊り天秤の状況



(写真 2 - 3)
吊り天秤上部に設置された仮設ダストモニタ及び局所排風機の状況



(写真 3 - 1)
吊り天秤の移動の状況



(写真 3 - 2)
配管切断箇所に移動された吊り天秤



(写真 4 - 1)
遠隔操作室の状況



(写真 4 - 2)
遠隔操作画面の状況

5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。